

**2015年3月期
(2014年度)**

決算概要

2015年4月28日

株式会社リコー

代表取締役 社長執行役員

三浦 善司

RICOH
imagine. change.





2015年3月期 通期決算 <概略>

- ✓ 売上高：2兆2,319億円、前年同期比 +1.7%増収
営業利益：1,157億円、前年同期比 ▲3.8%減益
当期純利益：685億円、前年同期比 ▲5.8%減益
- ✓ カラーMFP・PP販売、海外ITサービス事業が拡大したが、日本の前年IT特需反動減、米国港湾スト影響、競争激化、体制拡大費用増などの影響により、前年比減益
- ✓ 期末配当金は17円（年間34円）の予定で変更なし
- ✓ FY16/03期見通し
売上高：2兆4,000億円、前年同期比 +7.5%増収
営業利益：1,400億円、前年同期比 +20.9%増益
当期純利益：830億円、前年同期比 +21.1%増益
年間配当金：35円/株、前年比 +1円増配

2015年3月期より、従来の米国会計基準(US-GAAP)に替えて国際会計基準(IFRS)を適用しております。
当資料においては、前年度の数値も一部IFRSベースに置き換えて表記しています。



2015年3月期 <主要指標>

	FY15/03実績	前年比
売上高	2兆2,319億円	+1.7%
営業利益	1,157億円	▲3.8%
営業利益率	5.2%	▲0.3pt
EPS	94.58円	▲5.8%
ROE	6.5%	▲1.0pt
FCEL*	513億円	▲388億円
配当金	34円/株	+1円

*FCEL (Free Cash flow Excluding Leasing asset) : リース資産を除くフリーキャッシュフロー



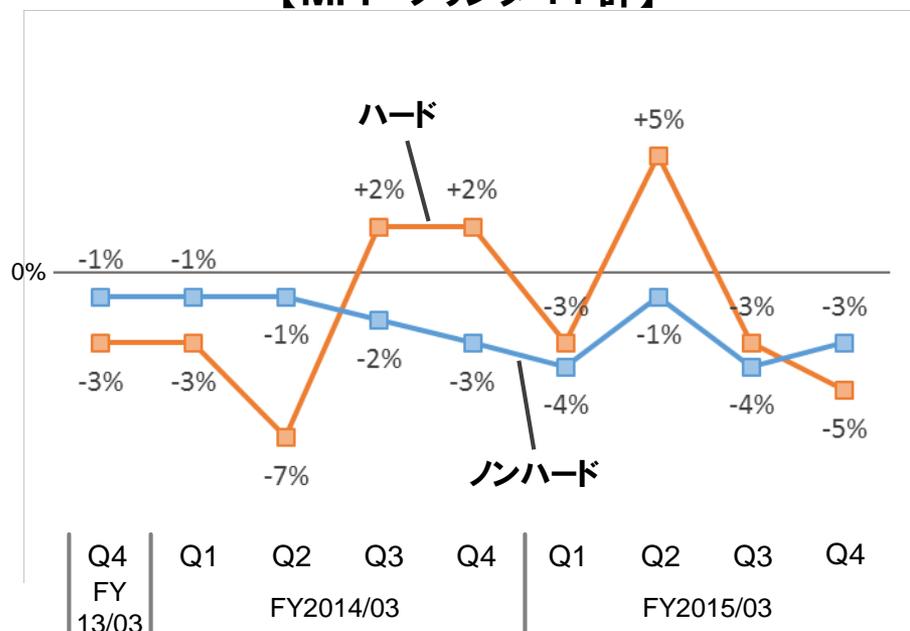
2015年3月期 通期決算 見通しとの差異

見通し営業利益（3Q決算時）	1,400億円
構造改革効果	+33
販売要因	▲258
内訳	
数量要因	▲102
価格要因	▲156
製造原価低減	▲15
研究開発費	+13
その他経費	▲37
為替影響	+21
実績営業利益	1,157億円（▲242）

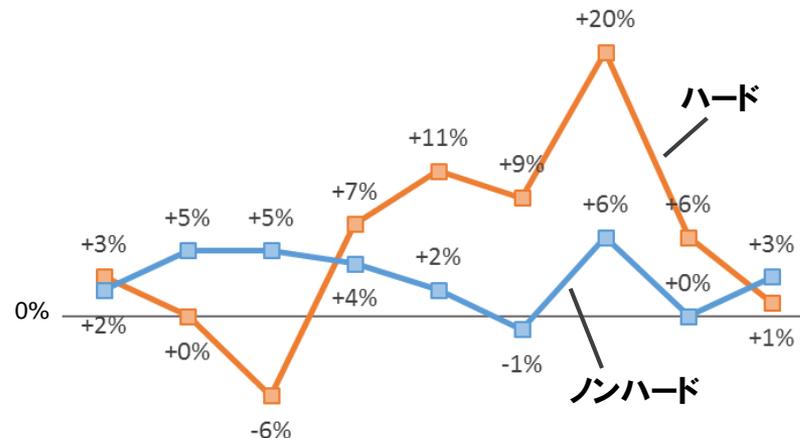
基盤製品ハード・ノンハード推移

前年同期比伸び率推移 (金額ベース、為替除く)

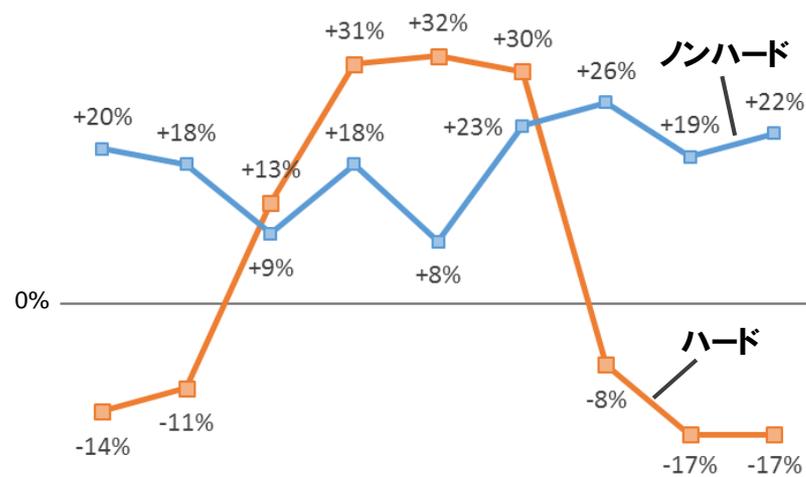
【MFP・プリンタ・PP計】



【参考:カラーMFP】



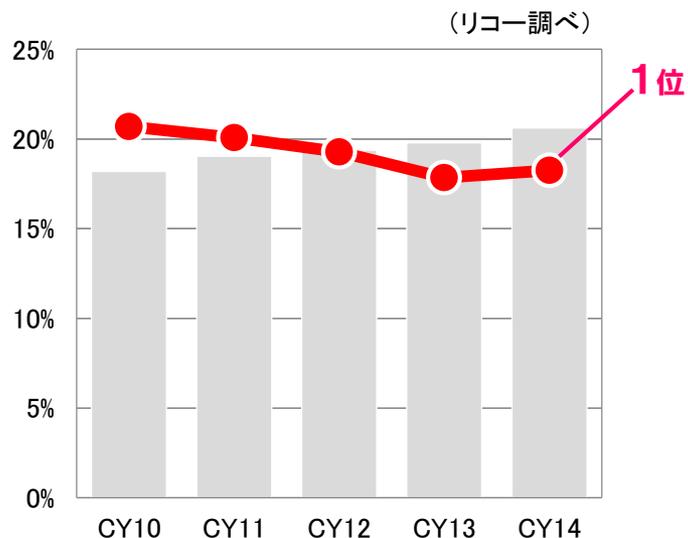
【参考:カットシートPP】



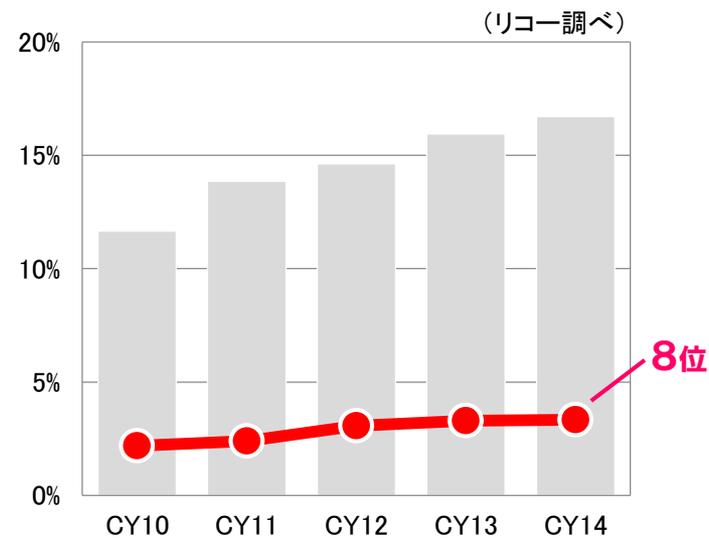


MFPシェア推移

【A3MFP】



【A4MFP】



<2013-2014投入の主な新製品>



MP C8002

MP C6002

MP 3554

<2013-2014投入の主な新製品>



SP112SU

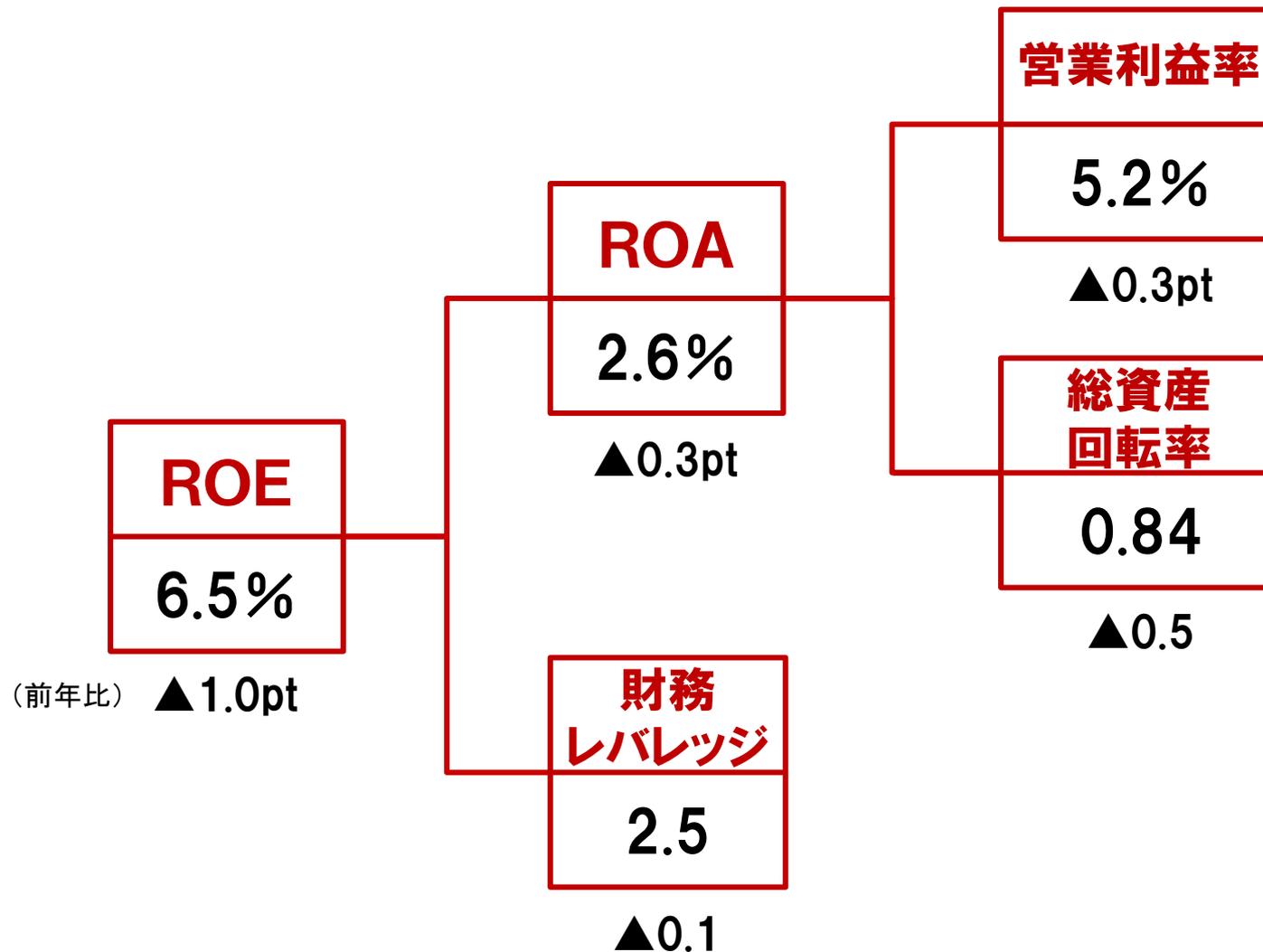
SG 3120SF

MP C305SP

MP 401SPF



ROE要素分解





2016年3月期見通し <主要指標>

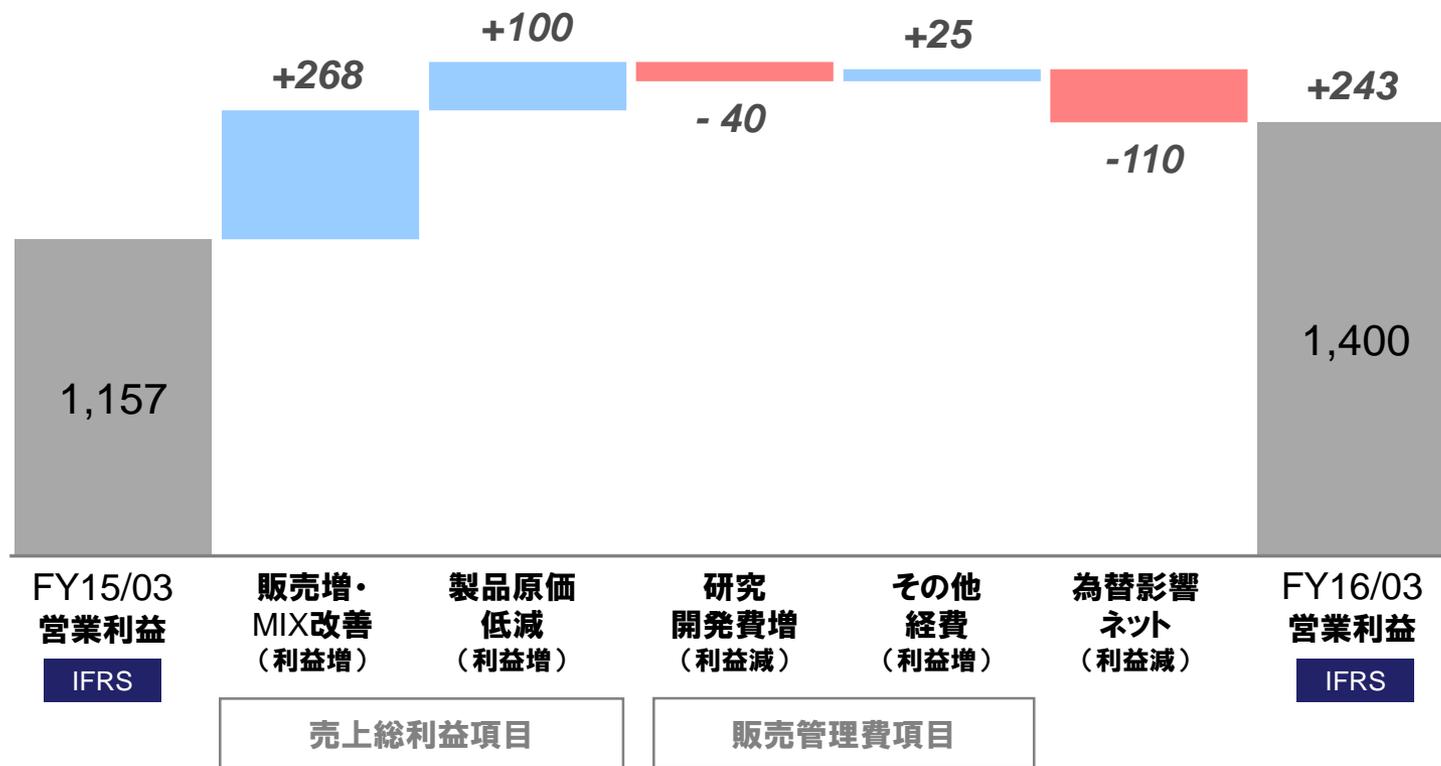
	FY16/03見通し	前年比
売上高	2兆4,000億円	+7.5%
営業利益	1,400億円	+20.9%
営業利益率	5.8%	+0.6pt
EPS	114.50円	+21.0%
ROE	8%以上	+1.4pt以上
FCEL*	800億円以上	+287億円以上
配当金	35円/株	+1円

*FCEL (Free Cash flow Excluding Leasing asset) : リース資産を除くフリーキャッシュフロー



2016年3月期 営業利益見通し:前年比増減

(単位:億円)



(参考)為替の前提

(単位:円)	FY15/03 実績	FY16/03 見通し	前年差
USドル	109.89	120.00	+10.11
ユーロ	138.85	125.00	-13.85

(参考)為替影響度

1円の変動による
年間影響額

(単位:億円)	売上	営業利益
USドル	60	8
ユーロ	38	14



2016年3月期 主要施策

■ オフィス事業

- ・MFP拡販によるアフター収益の最大化
- ・特定市場にフォーカスしたサービス事業の拡大

■ 新規事業

- ・最強ラインアップによるPP事業の収益拡大
- ・インダストリー事業の拡大

■ 全社

- ・持続的な構造改革の展開と加速
- ・資産効率の向上(資産見直し、資本政策検討など)



最近の新製品、サービス、etc

■ モノクロMFP



MP3554

■ カラープロダクションプリンタ



Pro C9110

■ インダストリ



ステレオカメラ
SV-M-S1

■ 3Dプリンタによる 製造サービス開始

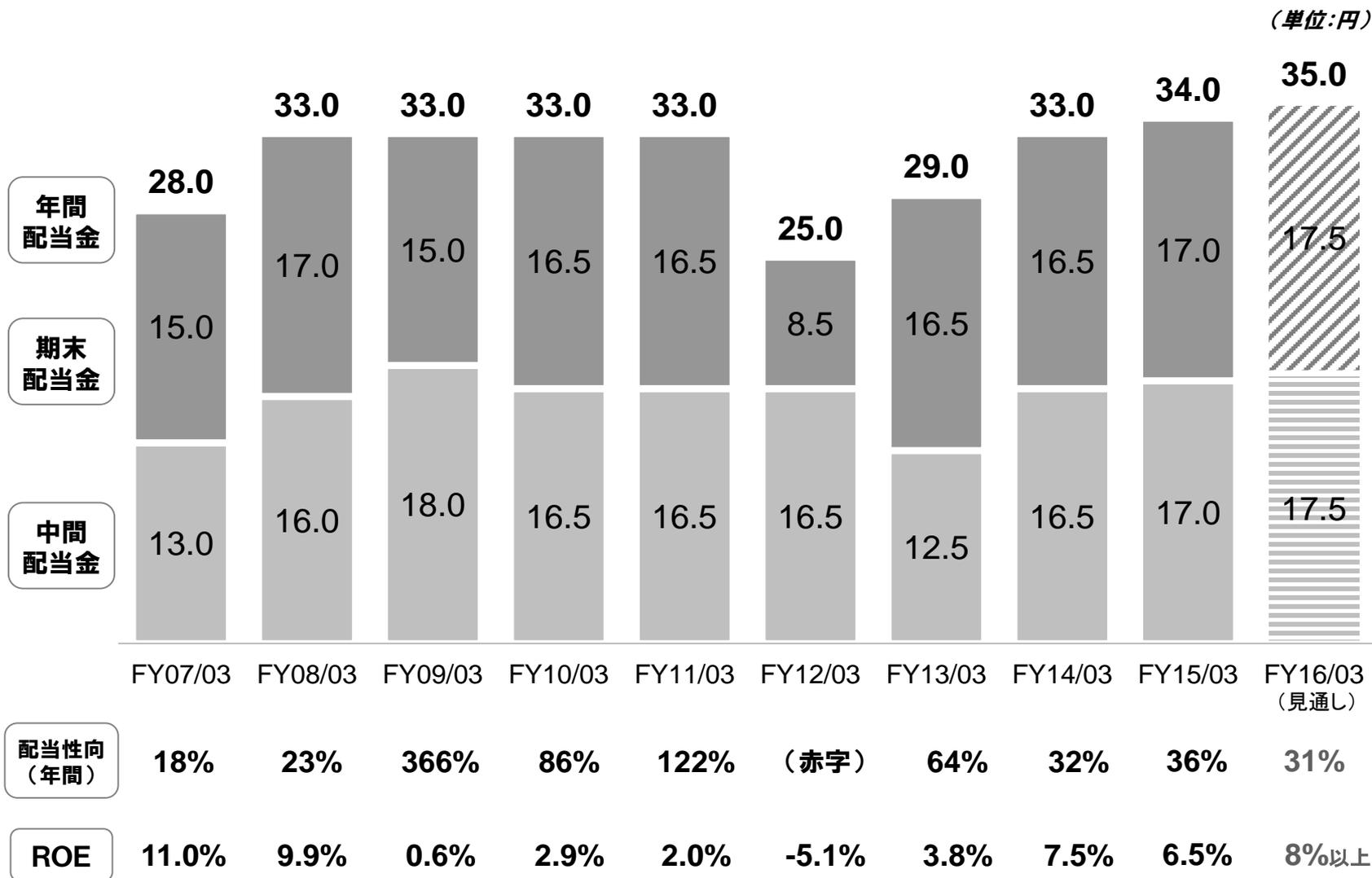


■ 事業の強化・拡大

- ・リコーミドルイースト開設
- ・PTI買収
- ・インターコネクスト資本参加



配当金 & ROE推移



参考：ファイナンス事業を除外した試算財務情報

* ファイナンス事業：国内、海外で展開するファイナンス事業

①損益計算書

(単位：億円)

	連結	製品・サービス事業	ファイナンス事業
売上高	22,319	21,802	1,329
営業利益	1,157	881	276

②財政状態計算書

	連結	製品・サービス事業	ファイナンス事業
資産	27,302	19,102	10,438
ファイナンス事業債権	8,576	-	8,576
負債	15,758	9,173	8,824
有利子負債	7,905	1,706	7,924
資本	11,543	9,929	1,614
ネット有利子負債	6,519	△1,308	7,918

③キャッシュフロー計算書

	連結	製品・サービス事業	ファイナンス事業
フリーキャッシュフロー	△190	513	△703

<経営指標>

	連結	製品・サービス事業
総資本税引前利益率(ROA)	4.2%	4.5%
親会社所有者帰属持分当期利益率(ROE)	6.5%	5.6%
親会社所有者帰属持分比率	39.7%	51.9%
有利子負債比率(DEレシオ)	72.9%	17.2%
総資産回転率	0.82	1.14

当情報は参考情報であり、一部項目に概算による情報が含まれます。なお、フリーキャッシュフローは、為替差額*による影響分219億円を除外して表記しております。

* 為替差額：海外子会社向け資金の調達時と返済時のレート差による現金支出

RICOH
imagine. change.

<http://jp.ricoh.com/IR/>